

令和6年度 国立中央青少年交流の家 教育事業

# 富士のさと イングリッシュキャンプ

開催要項



1. 目的 米軍海兵隊員との交流や英語での体験活動を通して、どのようにしたら英語でのコミュニケーションがうまくいくかを考え、実行していく。その中で失敗体験や成功体験を重ねながら外国との文化の違いを知ることきっかけに、英語や異文化を好きになっていくことを目指す。
2. 主催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立中央青少年交流の家
3. 期日 令和6年9月14日(土)～9月16日(月・祝) 2泊3日
4. 会場 国立中央青少年交流の家・キャンプ富士(米国海兵隊諸職種共同訓練センター)
5. 対象 小学5年～中学2年生の児童・生徒
6. 募集人数 40名(応募多数の場合は初参加の方を優先し、それ以外の方は抽選とさせていただきます)
7. 参加費 13,000円(食費、シーツ等洗濯料、傷害保険料など)
8. 宿泊場所 国立中央青少年交流の家 キャンプ場(テント泊)
9. スタッフ 国立中央青少年交流の家職員、キャンプ富士海兵隊員 及び 法人ボランティア(大学生等)
10. 日程

	7:00	7:30	8:30	10:00	10:30	11:00	12:00	13:00	13:30	15:00	19:00	20:00	21:00	21:30	
9月14日				受付	開会式	交流ゲーム	昼食	目標設定	テント準備 自由時間	夕食づくり(オリジナルメニュー)	EG準備①	入浴	振り返り		
9月15日	朝のつどい	朝食づくり (かートンドック)		キャンプ富士訪問						EG準備② 自由時間	夕食	イングリッシュゲーム	入浴	振り返り	
9月16日	朝のつどい	朝食づくり (ホットサンド)	テント片付け 清掃・荷造り	イングリッシュ ウォークラリー	最終発表準備	昼食 弁当	最終発表	閉会式							

※EG…イングリッシュゲーム

## 1.1. 申込み締切 及び 申込み方法

令和6年8月20日(火) 17:15 締切

チラシに記載のQRコード及びホームページより申込み(応募者多数の場合には抽選とさせていただきます)

※参加の可否や参加決定後の連絡(持ち物の案内等)はメールで行います。裏面の当施設メールアドレスからのメールを受け取ることができるように設定をお願いいたします。

## 1.2. 持ち物

9月初旬までにメールでお知らせいたします。

### 13. 服装

- (1) 雨天でも屋外で活動しますので、雨具（セパレート式の合羽が望ましい）が必要です。
- (2) 当施設は標高 700m 付近に位置しており、平地よりも 4～5℃気温が低いので、上着をご準備ください。

### 14. その他

- (1) キャンプ中の食事には野外炊事や弁当を含みます。食物アレルギーへの対応が十分にできない場合がありますので、申込まれる前にあらかじめご相談ください。
- (2) ご記入いただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等に基づき適切に管理し、この事業に関する事務のみに使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。本事業で職員等が撮影した写真や映像、制作物、感想文等の著作物を、当機構の広報等に使用する目的で、報告書や刊行物、インターネット（ソーシャルメディアサービスを含む）等に掲載することがあります。また、新聞社、雑誌社等が発行する刊行物に記事・写真を掲載することもあります。なお、当機構がインターネット上に公開した肖像及び著作物について、本人（又は保護者）から削除依頼を受けた場合は速やかに削除します。ただし、印刷物等については対応できかねますのでご了承ください。
- (3) 事業中に体調不良となった場合、お迎えに来ていただくこともありますので、ご理解とご協力をお願いします。
- (4) 天候等により、事業の中止または活動内容等が変更となる場合もございます。
- (5) 当所では経済的に困難な状況にあるご家庭のお子さんを対象に、教育事業への参加費を免除する仕組みを設けています。詳しくはお問合せください。

### 15. 問い合わせ先（ご不明な点については、下記担当までご連絡願います。）

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立中央青少年交流の家

〒412-0006 静岡県御殿場市中畑 2092-5 TEL : 0550-89-2020 FAX : 0550-89-2025

E-mail : fujinosato-kss@niye.go.jp 担当 : 西田・大西・石川

2015 年の国連サミットで、全会一致で採択された 2030 年までの国際目標「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成を目指し、国立中央青少年交流の家は、率先して推進活動に取り組んでいきます。

